

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 12月 16日 (17:00 ~ 19:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 館・花野・嶋田・松原・向山・越峠・田畑

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	6人	1人	人	7人

前回の改善計画
各職員、新規利用前に情報書をしっかり読む事で、ある程度情報を共有する事が出来ており、利用後についても柔軟な対応が出来る様になっているも、事前ミーティングは行えておらず、利用後はケアマネジャーやご利用者担当介護職員中心で話を進めていく事が多い。その為、今後は職員全員が中心となって対応策を考え、ご利用者、ご家族が安心して利用して頂ける様取り組んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果
新規ご利用者について、初回面接は管理者、ケアマネジャーだけが行い、利用開始に向けての準備を行う事が多かったが、現在は管理者、ケアマネジャーだけでなく、担当介護職員も面接に参加し、個人情報書作成も行っている。また、ケアマネジャー、担当介護職員から利用前に支援内容を申し送り、問題点等があれば利用前に話し合いを行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		5	2		7
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		7			7
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	6			7
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		7			7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	事前に作成した個人情報書を読み、各自情報共有出来ている。また、利用前に確認する個人情報書や、申し送り等でわからない事があればその都度各担当者に確認し、情報を共有している。
②	利用前にご本人やご家族が希望している支援をケアマネジャーと共有し、利用後も担当介護職員と連携強化を図り、日々変化のご本人やご家族の希望に臨機応変に対応している。
③	通い利用時はレクリエーション等のグループ活動を通じて、他のご利用者や職員と交流を図って頂き、不安な気持ちを取り除いている。また、訪問時は積極的に声掛けを行い、信頼関係を築ける様心掛けている。
④	利用中の面会時、送迎・訪問時は自宅での様子や、在宅介護を行う上で困っている事がないか、頻回に声掛けを行っている。また、知り得た情報は申し送りや、定期的介護職員フロア会議で情報共有している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	新規ご利用者については、定期的職員会議や日々の申し送りを行う事で情報共有を図っているが、職員同士で話し合う時間が少ない事により、介護統一が出来ていない事がある。
②	初期支援の段階では、管理者やケアマネジャーが中心にご本人、ご家族と話を進めている事がまだまだ多く、介護職員がご家族と接する機会が少ない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
●今後も初回サービス担当者会議を3ヶ月後、それ以降は半年に1回必ず行う事で、多職種間で情報共有を図り、在宅生活のサポートを行っていく。	
●定期的介護職員フロア会議継続。	
●担当介護職員以外もサービス担当者会議に参加出来るような環境を作り、職員間の連携強化を図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 12月 16日 (17:00 ~ 19:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 館・花野・嶋田・松原・向山・越峠・田畑

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	2人	5人	人	7人

前回の改善計画
再アセスメント後は、ご本人、ご家族の希望に沿った介護計画書を作成し、介護職員が閲覧出来る場所に保管しているが、日々の臨機応変な対応に追われ、介護計画書作成後は定期的に戻り、確認する事が無い。今後は介護計画書の保管場所の再検討や、介護計画書確認シート等を作成し、介護職員全員がご利用者の介護計画書を把握し、振り返る機会を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果
少しずつ自身の担当以外のご利用者の介護計画書を見るようにはなっているが、定期的に戻り、確認する機会や、介護計画書確認シート等は作成出来ていないので、昨年度の改善計画を継続する。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		6	1		7
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		7			7
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		4	3		7
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		5	2		7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②利用前はご本人やご家族から意向を聞き、介護計画書に反映している。また、ご本人の状態や目標を明確にする為、定期的にサービス担当者会議を開催している。作成した介護計画書は介護職員全員が閲覧できる様 1つのファイルにまとめている。	
③介護職員は担当しているご利用者だけでなく、全てのご利用者の意向を把握し、適切な関りを行っている。	
④日々気づいた事は各自申し送りを行う事で情報を共有し、日勤⇄夜勤の引き継ぎも毎日行っている。また毎月介護職員フロア会議を行い、サービスの振り返りや、事例検討を行っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①担当介護職員はケアマネジャーと共にサービス担当者会議を開催し、介護計画書を作成しているが、日々の業務に追われ、確認業務を行っていない。	
③各自、担当しているご利用者やご家族とは関る時間を多く持ち、目標に向けて積極的に取り組んでいるが、他のご利用者については意向を知っていても、消極的な面が見られる。	
④毎月介護職員フロア会議を行っているが、業務上の都合で不参加になる事もあり、議事録での確認になってしまう。また、会議中積極的な発言が見られず、プランを振り返り、次に活かせる様な充実した会議を行っていない事がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
再アセスメント後は、ご本人、ご家族の希望に沿った介護計画書を作成し、介護職員が閲覧出来る場所に保管しているが、日々の臨機応変な対応に追われ、介護計画書作成後は定期的に戻り、確認する事が無い。今後は介護計画書の保管場所の再検討や、介護計画書確認シート等を作成し、介護職員全員がご利用者の介護計画書を把握し、振り返る機会を作る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 12月 16日 (17:00 ~ 19:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 館・花野・嶋田・松原・向山・越峠・田畑

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	人	人	7人

前回の改善計画	情報共有しているつもりでも介護職員の受け取り方の違いにより、介護統一出来ていない事がある。その為、個々の解釈で判断するのではなく、介護職員全員が情報をもとに、話し合う機会を今まで以上に多く持つ事を意識し、しっかりとご本人、ご家族のニーズを把握する事で、緊急時も臨機応変な対応が出来るよう取り組んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果	個々の解釈で判断し、対応するのではなく、現在は少しずつ何か変化があれば管理者やケアマネジャーに相談したり、職員間で話し合いを行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		1	6		7
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?		7			7
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		5	2		7
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?		7			7
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		7			7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②③ご本人やご家族と積極的に関る事で情報を収集し、日常生活動作の中で出来ない事の支援を行っている。また、適宜申し送りノートへの記入、毎日の申し送り、毎月介護職員フロア会議を行う事で、個々に収集した情報を共有し、在宅生活のサポートを行っている。	
④状態の変化に気づけば、介護職員間で共有するだけでなく、看護師や主治医との連携強化を図っている。	
⑤体調不良時や、ご本人やご家族から要望があれば、出来るだけ迅速に対応する様心掛けている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①②③利用前に個人情報書を読んでいるが、ご利用者一人ひとり利用されているサービス(通い・宿泊・訪問)が違い、また、介護職員の雇用形態や関わり方の違いから、ご利用者の生活環境が把握出来ていない事がある。	
⑤共有した情報はある程度把握し支援を行っているが、継続した支援が行えていない事がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
今後も個々の解釈で判断するのではなく、介護職員全員が情報をもとに、話し合う機会を今まで以上に多く持つ事を意識し、しっかりとご本人、ご家族のニーズを把握する事で、緊急時も臨機応変な対応が出来るよう取り組んでいく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 12 月 16 日 (17 : 00 ~ 19 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 館・花野・嶋田・松原・向山・越峠・田畑

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7 人	人	人	人

前回の改善計画	来年も継続して7月の夏祭り(子供みこし)、12月のお餅つきには介護職員、ご利用者に参加して頂き、地域との交流を図っていく。また、サービス利用後も出来る限り住み慣れた場所で、出来るだけ生活環境が変わることなく過ごして頂けるようご家族、地域と連携強化を図っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	本年度も7月の夏祭り(子供みこし)、12月のお餅つきにはご利用者、介護職員が大勢参加し、地域との交流を図る事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		7			
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		6	1		
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		6	1		
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		3	2	2	

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②個人情報書をよく読み、今まで生活歴を把握する様にしている。また個人情報書を読んでわからない事等あれば、その都度作成者に質問し、利用後も出来るだけ今までの生活スタイルが変わらない様心掛けている。 ③各担当は利用前の個人情報書だけでなく、利用後も送迎時や面会時に自宅での様子を何う事で利用日以外の様子を把握している。 ④管理者、ケアマネジャー、担当介護職員がご本人の暮らしに必要な情報を把握し、介護職員に申し送りを行っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①サービスを利用される事で生活環境が変わってしまい、地域との関係が途切れてしまう事がある。 ③必要時は訪問等のサービスを行う事で自宅での生活支援を行っているが、独居の方や自宅での生活をご家族にお任せしている方に関しては把握出来ていない事がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
今後も継続して7月の夏祭り(子供みこし)、12月のお餅つきには介護職員、ご利用者に参加して頂き、地域との交流を図っていく。また、サービス利用後も出来る限り住み慣れた場所で、出来るだけ生活環境が変わることなく過ごして頂けるようご家族、地域と連携強化を図っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 12月 16日 (17:00 ~ 19:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 館・花野・嶋田・松原・向山・越峠・田畑

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	人	人	人

前回の改善計画	今後も継続して、事業所理念である『住み慣れた場所で家族との絆、地域との交流を大切に、笑顔あふれる生活をともに目指していきます』を目指していく為、定期的なミーティングだけでなく、必要に応じて会議を開催し、通い、訪問、宿泊を柔軟に組み入れたサービスを提供していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	ご利用者の状態変化に伴う対応変更や、ご家族の急な要望等あれば、ケアマネジャー不在であっても、担当の介護職員が中心となって臨機応変に対応出来るようになってきている。また、ケアマネジャーが中心となって、ケアの見直し等も積極的に行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		6	1		7
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	4			7
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	6			7
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		7			7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①月2回地域のふれあい喫茶に参加させて頂き、年3回程度は施設内で出張ふれあい喫茶を開催しています。また、それ以外にも様々なボランティアの方に来て頂き、地域の活動(子供みこし・お餅つき)等へも毎年ご利用者と共に参加し、地域の方々と協力しながら充実した生活が過ごせるよう支援している。</p> <p>②必要時はケアマネジャーと相談しながら要望に添ったサービス(通い・訪問・宿泊を柔軟に組み入れたサービス)を提供している。</p> <p>③毎日、日勤者⇒夜勤者、夜勤者⇒日勤者への申し送り、経過記録や訪問用紙の記入を徹底する事で、情報共有を行っている。また、毎月介護職員フロア会議を開催し、職員間の連携強化を図っている。</p> <p>④ご本人やご家族からの要望や、問題が発生した時は、ケアマネジャーやユニットリーダー、日勤リーダーを中心に話し合いを行い、柔軟な対応を行っている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①普段、地域との関わりは事業所管理者が中心で行い、ボランティアの方との日程調整も、担当している係りがメインで行っている為、職員間で情報共有出来ていない事がある。</p> <p>②③④ご利用者の状態に変化があれば、経過記録等への記入は徹底出来ているが、記入方法にばらつきがあり、記録を読むだけではご本人の変化に気付く事が出来ていない。また、毎月介護職員フロア会議を行っているが、参加人数が少ない時もあり、十分な会議が行えていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>ご利用者のニーズに合わせて「通い」「訪問」「宿泊」を組み合わせたサービスを行っているが、アセスメントが足りず適切なサービスが行えていない事もある為、日頃からケアマネジャー中心にご利用者について話す機会を多く作り、より適切なサービス提供を行っていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 12月 16日 (17:00 ~ 19:00)

6. 連携・協働

メンバー 館・花野・嶋田・松原・向山・越峠・田畑

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	4人	人	7人

前回の改善計画	ケアマネジャー、ユニットリーダー以外の職員は、まだまだその他サービス機関や地域のイベントに参加出来ていないが、年々参加する機会は多くなっている為、出来る限り多くの介護職員が参加できる環境を整える。 また、今後は他事業所に向けた勉強会だけでなく、地域に向けた勉強会も企画していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域行事である子供7月の夏祭り（子供みこし）、12月のお餅つきには、マルベリーのご利用者と一緒に介護職員も参加し、地域との交流を図っている。また、地域行事以外のイベントにも積極的に参加し、多職種との連携も図る事が出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		5	2		7
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		2	3	2	7
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		6	1		7
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		5	2		7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①ご利用者ごと定期的にサービス担当者会議を開催している。 ②2ヶ月に1回開催されている運営推進会議の中で、事業所管理者やケアマネジャー、ユニットリーダーを中心に、ご利用者、ご家族、地域包括支援センター職員、地域の方を交えて会議を行っている。 ③毎月、町会主催のふれあい喫茶に参加させて頂き、年間行事の夏祭り（子供みこし）、お餅つきなどにもご利用者と共に参加している。 ④年3回、町会の方がマルベリーへ来られ、いつもは町会の会館で行っているふれあい喫茶を、マルベリーで開催している。また、定期的に近隣の園児がマルベリーへ来られ、園児交流会も開催している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①介護職員も、定期的に開催するサービス担当者会議の中で、他事業所の職員と関わる事はあるが、必要時は事業所管理者やケアマネジャーが連携を図っている為、介護職員とその他のサービス機関の職員と関わる機会が少ない。 ②運営推進会議は管理者やユニットリーダーが中心に参加している為、直接地域包括支援センター職員と話をする機会はなく、会議の内容も書面で確認している。 ④催し物開催時は町会の方や、ボランティアの方がマルベリーへ来られるが、それ以外の日はほとんど来られる事がない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
●サービス担当者会議や運営推進会議、他事業所との定期的な勉強会へは決められた職員（管理者・ケアマネジャー、ユニットリーダーなど）だけが参加するのではなく、介護職員への積極的な参加を促し、多職種間の連携強化を図る。 ●地域行事である子供7月の夏祭り（子供みこし）、12月のお餅つきには、今後もマルベリーのご利用者と一緒に介護職員も参加し、地域との交流を図る。 ●地域住民参加型のイベントを企画する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 12 月 16 日 (17 : 00 ~ 19 : 00)

7. 運営

メンバー 館・花野・嶋田・松原・向山・越峠・田畑

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4 人	3 人	人	7 人

前回の改善計画

今後も現場の介護職員が、働きやすい環境で業務出来る様に、毎月の定例会議、年 2 回の職員面談を継続する。また、地域との関係性を今以上に構築し、地域に開かれた施設を目指していく。その為に実習生の受け入れ、地域に向けた普通救命講習、認知症サポーター養成講座を実現させる。

前回の改善計画に対する取組み結果

毎月定例会議 (小規模多機能ホーム・グループホーム：管理者、主任、ユニットリーダー) を実施し、運営についての話し合いを行っている。また、年 2 回の職員面談も継続して行っている。
実習生の受け入れも積極的に行っているが、地域に向けた普通救命講習、認知症サポーター養成講座は行う事は出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?		4	3		7
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		7			7
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		2	4	1	7
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		4	2	1	7

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①必要時はユニットリーダーを中心に話し合いを行い、職員間で意見交換出来ている。また年二回、事業所管理者との職員面談の中で意見を言う事が出来ている。
②送迎や面会時にご家族から意見や苦情等あれば、当日出勤者で解決できる問題は臨機応変に対応し、必要時はケアマネジャーやユニットリーダーに相談する事で、事業所運営に反映させている。また、苦情相談シートも適宜活用している。
③運営推進会議の中で地域の方から要望等あれば、適切に対応している。また、マルベリー玄関フロアに意見箱を設置している。
④年 2 回ご利用者やご家族、地域住民参加型の防災避難訓練を行い、地域との連携強化を図っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

①積極的に話をする職員と、話をするのが苦手な職員がいる中で、現場としてまとめた意見に偏りがある。また、面談時に意見を言う事はある程度出来ているが、実際職員間の意見が反映出来ているかわからない。
②投書箱は設置しているが、なかなか投書される事がなく、自由に意見を伝える環境が整っていない。
③地域に向けて普通救命講習、認知症サポーター養成講座など行う事が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

●毎月定例会議 (小規模多機能ホーム・グループホーム：管理者、主任、ユニットリーダー)、年 2 回の職員面、実習生の受け入れ継続。
●地域との関係性を今以上に構築し、地域に開かれた施設を目指していく為、地域に向けた普通救命講習、認知症サポーター養成講座開催。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 12月 16日 (17:00 ~ 19:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 館・花野・嶋田・松原・向山・越峠・田畑

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	人	人	人

前回の改善計画

外部研修については事前に年間スケジュールを伝え、出来る限り介護職員の希望に沿った研修に参加できるよう心掛ける。年間を通じて事故等は年々少なくなっているが、これからも事故防止委員会中心にリスクマネジメントに取り組んでいく。

前回の改善計画に対する取組み結果

各委員、係は年間スケジュールに基づき、定期的な会議、勉強会を行っており、施設全体の質の向上に努めている。また、ひやりはつとを積極的に活用し、事故発生時だけでなく、普段からご利用者の状態や、転倒等の事故についてのリスクを話し合い、未然に事故を防止している。外部研修についても職員の希望する研修に参加できる様、事前に希望を聞き出し、参加出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	6			7
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		7			7
③	地域連絡会に参加していますか		1		6	7
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		7			7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①②③事業所管理者が年間スケジュールを作成し、介護職員は各委員、係りに合った研修に参加している。研修参加後は施設内勉強会を開催し、介護職員全員がスキルアップする様努めている。また、個々のスキルアップや資格取得の為に、認知症介護実践・リーダー研修や、救命救急普及員講習への参加も出来ている。

④転倒等の事故があった際は事故報告書を作成し、発生要因、改善策を職員間で話し合いを行い、作成した報告書については他部署へも配る事で再発防止に努めている。また、事故は起きていないが、事故に繋がりそうな事があれば、ひやりはつとを作成する事で、未然に事故を防止している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

①②③介護職員は、年間スケジュールの研修に参加しているが、自主的には参加出来ていない。また地域の連絡会へは事業所管理者やケアマネジャー以外は参加していない。

④事故発生後や、事後に繋がりそうな場面があった際は書類を作成しているが、報告書を書くのを苦手にしてしている職員も多くいる為、書面だけでは周知徹底出来ておらず、再発防止が出来ていない事がある。また、日々の業務が忙しい為、作成した報告書を読んでも、その後余裕をもって改善策に取り組む事が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- 年間スケジュールに基づき、委員、係の定期的な会議、勉強会開催継続。
- 介護職員へ外部研修の案内を行い、今後も積極的な参加を促す。
- ひやりはつと、事故報告書の活用。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 12月 16日 (17:00 ~ 19:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 館・花野・嶋田・松原・向山・越峠・田畑

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	人	人	人

前回の改善計画	声掛けについては日々の業務に追われ、まだまだご本人の想いに添った関わりが出来ていない為、今後も介護職員の働く環境を整え、スピーチロックについても事故・身体拘束防止委員会を中心に、ご利用者の想いに沿った対応が出来る様、定期的に会議を開催する。成年後見人制度についてもほとんど理解している職員がいない為、勉強会を開催し理解を深めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	接遇委員や事故・身体拘束防止委員会を中心にアンケートや勉強会を実施し、ご利用者、ご家族が安心してマルベリーが利用できるよう施設全体で取り組みを行っている。 成年後見人制度についての勉強会は実施する事が出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	1	6			7
②	虐待は行われていない	2	5			7
③	プライバシーが守られている	2	5			7
④	必要な方に成年後見制度を活用している		2	3	2	7
⑤	適正な個人情報の管理ができている		7			7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②事故・身体拘束防止委員が、虐待に繋がりそうな環境や支援が行われていないか定期的に検討会議を行っている。また、必要時は適宜話し合いを行う事で、現在身体拘束は行われていない。 ③⑤支援経過等は適切な場所で記入し、保管場所も徹底している。また、ご利用者の想いに添った支援を行う様個々に配慮している。 ④ご本人、ご家族から成年後見人制度への相談があった際は、事業所管理者やケアマネジャーから説明を行っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①②ご本人の安全面(転倒、転落など)を配慮するあまり、身体拘束と思われるもおかしくない対応をしている事がある。また通常業務に追われ、スピーチロック(ちょっと待って下さいなど、ご本人の想いや行動を制限する声掛け)をしている事がある。 ③⑤日々の業務に追われ、ご利用者の健康状態や、予定などを他のご利用者や、ご家族が聞こえてしまう場所で話をしてしまう事がある。また、個人情報の書いた書類なども指定の場所以外に置いてしまう事がある。 ④成年後見人制度についての相談がほとんどなく、ご本人やご家族から相談があった際、説明できる介護職員が限られている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
●毎月定例会議(小規模多機能ホーム・グループホーム:管理者、主任、ユニットリーダー)を行い、必要時は業務改善を行う事で、介護職員のストレスを軽減する。 ●今後も接遇委員や事故・身体拘束防止委員会を中心に定期的なアンケートや勉強会を実施する事で、他の介護職員が行う声掛けや態度、介助方法が悪いと感じた時に注意が出来る環境を整え、職員全体の質の向上を図る。 ●成年後見人制度についての勉強会開催。 ●定期的に行っている個人情報保護についての勉強会継続。	

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	3		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	3		
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	3		
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	2	1	

【上記4つのチェック項目に関する意見】

- 常勤スタッフ全員が自己評価に参加している事が確認できる。
- 具体的な取組みも詳細に書かれている。
- 出来ている所、出来ていない所を具体的に明示している所が良いと思います。

【前回の改善計画に対して意見】

- 職員間や利用者家族との連絡や、コミュニケーションを積極的に行う取組みが良いと思います。
- 計画の内容に沿った取組みを行っている。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

改善計画は具体性に欠けると感じる。その為、達成可能か判断できない。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

細かい項目一つ一つに対し、具体的に評価していると感じる。

【改善計画】※後日記入

介護保険のサービスだけで生活を支えるのではなく、マルベリー利用後も社会資源を活用し、住み慣れた環境での生活が不安なく、安心して継続出来る様にサポートを行っていきます。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	2		1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	3		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	3		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	2		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

事業所内はいつも清潔感がある。

【前回の改善計画】

今後も各フロアのリーダー職員が中心となって、接遇に関する勉強会を開催し、ご利用者、ご家族、地域の方がいつでも不安なく安心して利用できる施設を目指します。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- これからも清潔な空間を維持して下さい。
- いつも掃除が行き届いていて、季節の飾り等されていていいと思います。

【今回の改善計画】※後日記入

- 今後も接遇係、環境整備係が定期的な勉強会、アンケートを実施する事で、ご利用者、ご家族の方が不安なく安心して頂ける様な環境を整えています。
- 感染予防については、季節に応じた感染予防啓発ポスターの掲示、各フロアへの申し送りを徹底します。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	2	1	
1	職員はあいさつできていますか？	3		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	3		
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	2		1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	3		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- 地域の行事やイベントに参加し、積極的に地域と関わっている。
- 地域の方から事業所の名前を耳にする事が多く、認知度が高いと感じる。

【前回の改善計画】

今年こそ、地域住民参加型の認知症サポーター養成講座、普通救命講習を開催します。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- これからも積極的に地域と関り、地域にとって必要不可欠な事業所になるといいですね。
- 地域の方に馴染みがあり、何かあれば相談しやすい様に色々なアピールや取り組みをお願いしたいと思います。

【改善計画】※後日記入

毎年目標として認知症サポーター養成講座、普通救命講習を実施すると掲げていますが、実現する事が出来ていませんので、まずは地域の方と話し合う機会を設け、中長期の目標として進めていきます。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	3		
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	3		
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	3		
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	2		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- 毎回、運営推進会議には地域の方が参加している。
- 事業所スタッフから、近所の心配な方の相談を受けている。

【前回の改善計画】

まだまだ地域の課題に向き合って、積極的な活動は出来ていないように感じる為、今後は地域の方と様々な活動（地域の活動・マルベリーのイベント）を通じて、気軽に話が出来る環境を整えます。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- これからも利用者だけでなく、近所の方にも目を向けた支援をお願いします。
- 地域の人達との関りは大切だと思いますので、出来る範囲で無理の無い程度で活動をお願いします。

【改善計画】※後日記入

運営推進会議では、施設側の報告に時間を使っている事が多いので、地域の問題などを話し合う時間を設ける事で、地域の課題を見つけ出し、地域の方と一緒に課題を克服していきます。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	2	1	
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	3		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	1	1	1
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	2		1
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	2		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

●毎回運営推進会議では、事業所の取り組みについて詳しく説明されている。特に身体拘束未実施への取り組みについて、積極的に取り組んでいる様子が伺える。

【前回の改善計画】

運営推進会議の内容や、参加者については今後も今の状態を維持しながら、参加する職員が管理者とリーダーだけでなく、介護職員も出来る限り参加出来るような体制を整えます。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

●会議で話し合われた内容を、皆で共有をして取り組む事が大切だと思います。毎回同じメンバーにならない様、色々な人が参加しやすい仕組みなど。

●毎回地域の方が参加されている点は良いと思います。これからは介護職員の方も参加し、地域の方と交流を深めて頂けたらと思います。

【改善計画】※後日記入

運営推進会議の参加者は、地域代表として町会長と民生委員、施設側の参加者として管理者、主任、ユニットリーダーが参加する事がほとんどなので、本年度開催する運営推進会議は、町会長と民生委員以外の地域住民の方の参加も促し、施設側の参加者としても、出来る限り毎回違う介護職員に参加してもらい、地域の方と交流を図る機会を多く設けます。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	1	1	1
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	2		1
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	2	1	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	1		2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- この項目に関しては把握していない事が多い。
- 事業所の建物の防災対策（耐震・浸水等）、定期点検の有無の項目もあればいいと思います。

【前回の改善計画】

毎月のミニ防災訓練、年2回の防災避難訓練は継続し、昨年経験した災害時のトラブルを教訓にしながら、もう一度災害対策マニュアルを見直し、緊急時も焦る事なく対応できる様、施設全体で取り組んでいきます。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ここ数年、防災訓練に参加出来ず申し訳ありません。
- 近年災害が多くなっているので、職員の方や利用者も含めて、普段から意識を高める習慣を身につける事が大切だと思います。

【改善計画】※後日記入

- 火災を想定した訓練だけでなく、様々な災害に備えたミニ防災訓練（毎月）を実施する。
- 年2回の定期防災避難訓練では、実際に大災害が起こった場合、介護職員はどのような行動すべきかを訓練の中で実体験してもらい、様々な大災害に備えていく。
- 備蓄食の確保継続。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人 淀井病院	代表者	淀井 省三	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ●開設以来、年々地域との繋がりも強化出来ており、年間地域行事である、子どもみこし、お餅つきへ毎年参加し、地域のふれあい喫茶へも毎月2回の開催日は必ず参加している。また定期的にふれあい喫茶を開催している地域の婦人部の方が、マルベリーにて出張ふれあい喫茶を開催してくれている。家族会も年1回継続して行っており、職員が間に入り家族同士の交流も図れている。 ●医療面に関しても医療法人である強みを生かし、ご利用者、ご家族が安心して在宅生活が過ごせるよう医療職との連携を図っている。 ●年2回行われる避難訓練では、ご利用者、ご家族、地域住民参加型の訓練を行う事で、職員の災害に対する意識向上が図れている。
事業所名	小規模多機能ホーム マルベリー	管理者	富嶋 博之		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	2人	2人	1人	人	3人	2人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	今後も出来る限り地域資源を活用しながら、ご利用者の希望に沿ったサービスを柔軟に組み入れ、安心して在宅生活が継続できるよう職員全員で取り組んでいきます。	開設して10年を迎え、ご利用者、ご家族の希望に沿った生活支援が出来る様になっていると思いますが、サービス利用後は今まで生活されていた環境が大幅に変わる事があり、社会資源を活用した生活支援はまだまだ出来ていない様に感じます。	<ul style="list-style-type: none"> ●常勤スタッフ全員が自己評価に参加している事が確認できる。 ●具体的な取り組みも詳細に書かれている。 ●出来ている所、出来ていない所を具体的に明示している所が良いと思います。 	介護保険のサービスだけで生活を支えるのではなく、マルベリー利用後も社会資源を活用し、住み慣れた環境での生活が不安なく、安心して継続出来る様にサポートを行っていきます。
B. 事業所のしつらえ・環境	今後も各フロアのリーダー職員が中心となって、接遇に関する勉強会を開催し、ご利用者、ご家族、地域の方がいつでも不安なく安心して利用できる施設を目指します。	毎月各フロアの主任・リーダーが中心となって接遇会議を開催し、定期的な勉強会、アンケートを実施する事で、ご利用者、ご家族の方が不安なく安心して頂ける様な環境を整えています。 また、季節に応じて掃除方法を変更するなどして、感染予防にも努めています。	<ul style="list-style-type: none"> ●事業所内はいつも清潔感がある。 ●これからも清潔な空間を維持して下さい。 ●いつも掃除が行き届いていて、季節の飾り等されていていいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も接遇係、環境整備係が定期的な勉強会、アンケートを実施する事で、ご利用者、ご家族の方が不安なく安心して頂ける様な環境を整えています。 ●感染予防については、季節に応じた感染予防啓発ポスターの掲示、各フロアへの申し送りを徹底します。
C. 事業所と地域のかかわり	今年こそ、地域住民参加型の認知症サポーター養成講座、普通救命講習を開催します。	昨年度目標に掲げた地域住民に向けての認知症サポーター養成講座、普通救命講習は開催する事は出来ませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の行事やイベントに参加し、積極的に地域と関わっている。 ●地域の方から事業所の名前を耳にする事が多く、認知度が高いと感じる。 ●これからも積極的に地域と関り、地域にとって必要不可欠な事業所になるといいですね。 ●地域の方に馴染みがあり、何かあれば相談しやすい様に色々なアピールや取り組みをお願いしたいと思います。 	毎年目標として認知症サポーター養成講座、普通救命講習を実施すると掲げていますが、実現する事が出来ていませんので、まずは地域の方と話し合う機会を設け、中長期の目標として進めていきます。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	まだまだ地域の課題に向き合って、積極的な活動は出来ていないように感じる為、今後は地域の方と様々な活動（地域の活動・マルベリーのイベント）を通じて、気軽に話が出来る環境を整えます。	様々な活動を通じて、地域の方と話をする機会がありますが、管理者⇄町会長もしくは民生委員と話をしてしまう機会が多く、地域が抱えている問題などをより詳しく、時間をかけて話をする機会を持つ事は出来ませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ●毎回、運営推進会議には地域の方が参加している。 ●事業所スタッフから、近所の心配な方の相談を受けている。 ●これからも利用者だけでなく、近所の方にも目を向けた支援をお願いします。 ●地域の人達との関りは大切だと思いますので、出来る範囲で無理の無い程度で活動をお願いします。 	運営推進会議では、施設側の報告に時間を使っている事が多いので、地域の問題などを話し合う時間を設ける事で、地域の課題を見つけ出し、地域の方と一緒に課題を克服していきます。

<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>	<p>運営推進会議の内容や、参加者については今後も今の状態を維持しながら、参加する職員が管理者とリーダーだけでなく、介護職員も出来る限り参加出来るような体制を整えます。</p>	<p>運営推進会議を2ヶ月に1回開催し、ご利用者、ご家族、地域の方（町会長・民生委員）と話をする機会はありませんでしたが、本年度も施設側の参加者としては管理者、主任、ユニットリーダー以外は参加する事が出来ませんでした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●毎回運営推進会議では、事業所の取り組みについて詳しく説明されている。特に身体拘束未実施への取り組みについて、積極的に取り組んでいる様子が伺える。 ●会議で話し合われた内容を、皆で共有をして取り組む事が大切だと思います。毎回同じメンバーにならない様、色々な人が参加しやすい仕組みなど。 ●毎回地域の方が参加されている点は良いと思います。これからは介護職員の方も参加し、地域の方と交流を深めて頂けたらと思います。 	<p>運営推進会議の参加者は、地域代表として町会長と民生委員、施設側の参加者として管理者、主任、ユニットリーダーが参加する事がほとんどなので、本年度開催する運営推進会議は、町会長と民生委員以外の地域住民の方の参加も促し、施設側の参加者としても、出来る限り毎回違う介護職員に参加してもらい、地域の方と交流を図る機会を多く設けます。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>毎月のミニ防災訓練、年2回の防災避難訓練は継続し、昨年経験した災害時のトラブルを教訓にしながら、もう一度災害対策マニュアルを見直し、緊急時も焦る事なく対応できる様、施設全体で取り組んでいきます。</p>	<p>毎月のミニ防災訓練と、年2回の定期防災避難訓練は継続して開催出来ており、職員だけでなく、ご利用者、ご家族の防災意識も年々高まっている様に感じます。また、本年度は消火散水栓を実際に使用した訓練も行いました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●この項目に関しては把握していない事が多い。 ●事業所の建物の防災対策（耐震・浸水等）、定期点検の有無の項目もあればいいと思います。 ●ここ数年、防災訓練に参加出来ず申し訳ありません。 ●近年災害が多くなっているため、職員の方や利用者も含めて、普段から意識を高める習慣を身につける事が大切だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ●火災を想定した訓練だけでなく、様々な災害に備えたミニ防災訓練（毎月）を実施する。 ●年2回の定期防災避難訓練では、実際に大災害が起こった場合、介護職員はどのような行動すべきかを訓練の中で実体験してもらい、様々な大災害に備えていく。 ●備蓄食の確保継続。

